

## オハイオ州・フィンドレー大学 奨学生レポート 9月

ここフィンドレーでの生活も一ヶ月経ち、だいぶいろいろなことに慣れてきました。  
今回は、生活の中心である学校生活、授業、課外活動についてレポートしたいと思います。

### 時間割

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8 : 00~8 : 50					Writing Lab
9 : 00~9 : 50	Writing	Reading	Writing		Writing
10 : 00~10 : 50	Speech		Speech		Speech
16 : 00~16 : 50				Japanese	
18 : 30~21 : 15	Entrepreneurship (起業)				

秋学期の時間割

一学期間を取る授業の数は、日本にいたときよりも少ないですが、日本の大学と違って宿題が毎回出されるので、家での勉強が必須となります。

授業の時間は日本の大学は90分ですが、こちらは一クラスが50分で、3単位の授業だと、月・水・金曜の3回、または75分授業を火・木曜の2回受ける、といった形が多いです。

例えば、日本の大学だと90分の授業が一週間に一回あり、クラスによって課題・レポートが出されるといいます。こちらは、3単位のクラスの場合、月曜日に授業を受けて宿題が出され、また水曜日に行き宿題が出され、金曜日に行き・・・といった様に、一つのクラスについて一週間ずっと取り組む形になります。もちろんクラスの形態も様々で、私が取っているクラスの中には、一週間に一回50分のクラスや、一回2時間45分のクラスもあります。

アメリカの大学は朝が早く、一番早くて8時から始まります。キャンパス内に住んでいるので、実際、日本での1限の授業よりは苦ではありませんが・・・

### 授業の様子

生徒の発言、質問が非常に多く、常に教授とディスカッションをしながら授業は進んでいきます。アメリカの学校に通ったことがなく、ネイティブスピーカーではない私にとっては、非常に新鮮で驚いたとともに、ディスカッションについていくのはなかなか大変なことでもあります。授業は常に活気とユーモアに溢れていて、50分という短い時間の中、終始集中してられる印象があります。

クラスの構成人数はだいたい15人~25人と少ないです。

私が面白いと思ったのは、アメリカの学生は授業が終わると1秒でも早く教室から出たがります。授業が終わりに近づくにつれ、片付けを始める学生が多く(日本の大学だと教授に失礼な気がしますが)、終わると同時に教授に質問がある学生以外は皆いなくなります。(本当にいなくなります。)



教室の様子

### クラブ活動

フィンドレー大学には本当にたくさんのクラブ活動・ボランティア活動があります。日本の大学のサークルとは少し違います。1週間に1回または2週間に1回ミーティングが開かれ、誰でもいつでも参加できます。特に参加表明をする必要はなく、「来る者拒まず、去る者追わず」といった印象です。

去年の伊藤さんも参加していた **Habitat For Humanity** に私も参加しています。説明が難しいですが、これは家をなくしたり、家を買えない人のために家を建てるという活動を行っています。本当に自分たちの手で釘をうったり、木材を切ったりします。



Habitat For Humanity での活動